

第3学年*組 美術科学習指導案

指導者 森江 邦和

1 題材名 「絵画の世界へアプローチ！」

2 目標

- 美術作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに関心をもち、主体的に見方を深め、味わおうとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- 美術作品のよさや美しさを様々な視点から感じ取り見方を深め、新しい視点や価値に気付くなど、そのよさや美しさを幅広く味わう。(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、第2学年及び第3学年の内容B鑑賞(1)アに当たり、生徒が考える様々な視点を基に作品を鑑賞し、自分の考えを述べ合う活動を行う。作者の生きた時代背景を調べたり、模写をして作品の制作過程を追体験したりして思いを巡らせながら見方を深め、自分の価値意識をもって批評し合うことで美術作品のよさや美しさを幅広く味わうことができると考える。

(2) 生徒の実態

本学級での意識調査によると、ほとんどの生徒は、興味・関心をもって鑑賞活動に取り組んでいることが分かった。一方、様々な視点で作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取ったり、作品に対する新たな視点や価値に気付いたりすることができていないと感じる生徒がいることが分かった。このことから、本題材では、様々な視点から作品の見方を深め、自分の価値意識をもって批評し合うことで、新しい視点や価値に気付くなど、多様な視点で作品に対する考えを深めることが大切であると考える。

(3) 指導観

生徒の実態を踏まえ、題材「絵画の世界へアプローチ！」を設定し、様々な視点から作品の見方を深め、新しい視点や価値に気付くことができるような鑑賞活動を位置付ける。まず、個人で作品を鑑賞した後に、作者の生きた時代背景について調べたり、模写をして作品の制作過程を追体験したりするなど、生徒が考える様々な視点を基に鑑賞できるようにする。次に、グループ鑑賞を通して、自分の考えを根拠を明らかにして述べたり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする場を設け鑑賞できるようにする。このような活動を取り入れることで、美術作品のよさや美しさを幅広く味わうことができると考える。

4 学習と評価の計画(4時間扱い)

時	学習活動	関	鑑	学習活動に即した主な評価規準
1	○ 鑑賞した内容をグループで話し合いながら整理し、作品に迫るための視点を明らかにする。	◎	○	(関) 形や色彩、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに関心をもち、美術作品のよさや美しさを主体的に感じ取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
2	○ 作品に迫るための鑑賞の手立てを考え、実践する。	◎		(関) 作品に迫るための鑑賞の手立てを様々な視点から主体的に考えようとしている。 (観察・ワークシート)
3	○ 作品に迫るための鑑賞の手立てを実践するとともに、思ったことや考えたことなどを述べ合う。	○	◎	(鑑) 様々な視点を基に鑑賞し、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り見方を深めている。 (観察・ワークシート)
4	○ グループ鑑賞を行い、自分の考えを述べたり、価値意識をもって批評し合ったりする。	○	◎	(鑑) 多様な視点から作品に対する考えを深め、美術作品のよさや美しさを幅広く味わっている。 (観察・ワークシート)

5 本時の学習

【第1時】


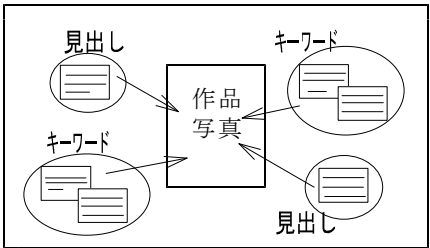
(1) 目標

形や色彩，作者の心情や意図，創造的な表現の工夫などに関心を持ち，主体的に感じ取り，美術作品のよさや美しさを味わう。

(2) 準備・資料

作品写真，図録，付箋，ワークシート（1「個人用」，グループ用），ペン

(3) 展開

時間	学習活動（予想される生徒の姿）	教師の働きかけと評価
10	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ムンクの「叫び」を鑑賞し，様々な視点で，そのよさや美しさを感じ取ろう。</p> </div> <p><鑑賞作品> エドヴァルド・ムンク 「叫び」1893年 オスロ美術館蔵</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を確認し，授業の見直しをもてるようにする。 作品を鑑賞し，自分が最初に感じた印象を大切にすることや，鑑賞の能力を高めるために，他者の意見もしっかりと聞く姿勢が大切であることを伝える。 他者の鑑賞したことに対して，共感するだけでなく，質問したり，確認したりすることも重要であることを助言する。 感想の書き方については，付箋1枚に対して一つの内容を記入するように伝える。
15	<p>2 個人で作品を鑑賞し，付箋に感想を書く。</p> <p>◎ムンクの「叫び」が評価され，愛され続けているのはなぜだろう。</p> <p><感想の例></p> <ul style="list-style-type: none"> 手前の人，誰かを呼んでいるようなポーズに見える。 どうして空や地面がうねうねしているのだろう。 色遣いや筆遣いがはげしい。 不安な感じがする。なんか怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞が滞っている生徒に対しては，その生徒が気になった部分などについて質問し，作品を見る視点が明確になるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】（美術への関心・意欲・態度）</p> <p>形や色彩，作者の心情や意図，創造的な表現の工夫などに関心を持ち，主体的に感じ取ろうとしている。（観察）</p> <p>-----</p> <p><十分に満足できる状況例></p> <p>美術作品のよさや美しさに関心を持ち，様々な視点から主体的に感じ取ろうとしている。</p> </div>
20	<p>3 自分の考えを述べ合いながら，グループ用ワークシートをまとめる。</p> <p>(1) 付箋を貼りながら，自分の見方や考え方について述べる。</p> <p>(2) 話し合いながら付箋を分類し，キーワードや見出しを付ける。</p> <p><グループ用ワークシートの活用例></p> 	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に感想が書けない生徒に対しては，自分なりの言葉で書くことや，疑問に思ったことなども書くように助言する。 付箋を貼るときは，作品のどこを見て，どのように考えたのか理由をはっきりと説明するように助言する。 自分の言葉で述べられない生徒については，生徒の見方や考え方に合わせて説明を加えることで，生徒が自分で検討できるようにする。また話し合いで他の生徒が使っていた言葉なども参考になることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】（鑑賞の能力）</p> <p>形や色彩，作者の心情や意図，創造的な表現の工夫などに関心を持ち，美術作品のよさや美しさを味わっている。</p> <p>（観察・ワークシート）</p> <p>-----</p> <p><十分に満足できる状況例></p> <p>形や色彩，作者の心情や意図，創造的な表現の工夫など，美術作品のよさや美しさを様々な視点から感じ取り，深く味わっている。</p> </div>
5	<p>4 ワークシート1に，鑑賞したことについて感想を記入する。</p> <p>○ムンクの「叫び」を鑑賞し，作品のどこからどのようなことを考えましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を通して，感じたことや考えたことを記入できるようにする。

【第2時】

(1) 目標

作品に迫るための鑑賞の手立てを様々な視点から主体的に考える。

(2) 準備・資料

ワークシート1, 図録, 筆, 絵の具, 色鉛筆, 下絵, デジタルカメラ, パソコン, イーゼル

(3) 展開

時間	学習活動（予想される生徒の姿）	教師の働きかけと評価
5	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ムンクの「叫び」に迫るための鑑賞の手立てを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を確認し、授業の見直しをもてるようにする。 前時の学習を振り返り、自分の作品の見方や考え方を確認することを伝える。 実践グループは、あらかじめ前時のワークシートを参考に、生徒の視点に合わせて、教師が編成しておく。
5	<p>2 同じ方向性の考えをもつ人と実践グループをつくる。（3～4人程度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループでの活動を基本とするが、状況によって、個人で行うことも認めるようにする。
15	<p>3 自分の考えを述べ合いながら鑑賞の手立てを計画する。</p> <p>※自分の感じたことや疑問に思ったことなどを基に、グループで意見交換をしながら鑑賞の手立てを決定していく。</p> <p><予想される活動例></p> <ul style="list-style-type: none"> 時代背景や人物像を調べる。 部分の模写をする。 同じ作者の制作年代が異なる作品と比較する。 同じタイトルの作品を比較する。 登場人物の視点に立って、情景を想像する。 <p><様々な視点の例></p> <p><教室以外の活動場所></p> <ul style="list-style-type: none"> パソコン室 } PCや本で調べる。 国際メディア(図書室) } 隣接する教室(技術室) } スペースを 光のテラス } 活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞の手立ては、初めから教師が視点を与えてしまうのではなく、生徒の意見に寄り添いながら助言する。 活動中のグループを回りながら、ポイントとなるつぶやきや意見を取り上げ、よい考えを称賛したり、もう一度生徒へ問い返したりと、更に活動が深まるようにする。 鑑賞の手立てを実践するに当たり、活動そのものが目的ではなく、自分の考えを深めたり、自分が抱いた疑問などを解決したりできるような活動になっているか、十分に吟味するように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】(美術への関心・意欲・態度)</p> <p>作品に迫るための鑑賞の手立てを、様々な視点から主体的に考えようとしている。 (観察・ワークシート)</p> <p>-----</p> <p><十分に満足できる状況例></p> <p>作品に迫ることのできる鑑賞の手立てかどうかを他者の見方や考えなども踏まえながら、繰り返し考えようとしている。</p> </div>
20	<p>4 準備ができたところから、鑑賞の手立てを実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品に迫る方法が考えつかない生徒に対しては、作品に迫る視点を確認し、どんな手立てが考えられるのか複数提案する。そして生徒の考えに即した活動になるように支援する。 鑑賞の手立てが決定したら、すぐ活動に入れるように、必要となりそうな道具等は教師が事前に準備する。 活動がすぐに滞ることが想定される生徒については、更に活動が深まるようなポイントをアドバイスをするなど柔軟に対応していく。
5	<p>5 ワークシート1に、実践する手立てについて記入する。</p> <p>○ムンクの「叫び」について、どの部分を、どのように調べていきますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所は、グループ数や活動内容に合わせて、十分な活動ができるように確認しておく。 次時の活動で使用する道具や活動場所などを確認し準備の計画を立てる。

【第4時】

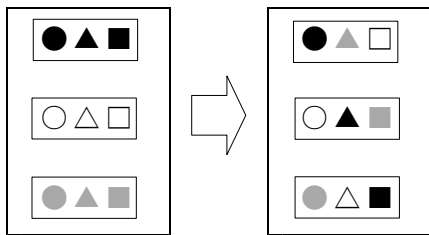
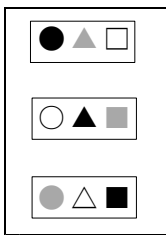
(1) 目標

自分の価値意識をもって批評し合いながら、一人では気付かなかった視点や価値に気付くなど、多様な視点から作品に対する考えを深め、美術作品のよさや美しさを幅広く味わう。

(2) 準備・資料

作品写真，図録，ワークシート1・2

(3) 展開

時間	学習活動（予想される生徒の姿）	教師の働きかけと評価
5	1 本時の学習課題を知る。 グループ鑑賞を通して，ムンクの「叫び」のよさや美しさを幅広く味わおう。	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を確認し，授業の見直しをもてるようにする。 同じ活動をして，人によって感じ方が違うこと助言し，自信をもって話し合い活動に臨めるようにする。
5	2 前時の活動について，自分の考えを整理してワークシート2にまとめ，話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 前時のワークシートを確認させ，実践した手立ての視点，ねらいなどについて自分の言葉でまとめさせる。 グループの構成は，教師が生徒の鑑賞の記述などを参考にして，各グループの中に様々な考えをもつ生徒が含まれるように意図的に編成しておく。
30	3 グループのメンバーを入れ替え，異なる視点で作品に迫った人たちと自分の価値意識をもって批評し合う。 ＜1回目＞  ＜2回目＞ 	<p>【評価】（美術への関心・意欲・態度） 自分の価値意識をもって批評し合いながら，美術作品のよさや美しさを感じ取ろうとしている。（観察・ワークシート） ＜十分に満足できる状況例＞ 自分の価値意識をもって批評し合いながら，多様な視点から考えを深め，美術作品のよさや美しさを幅広く味わおうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いにうまく参加できていない生徒に対しては，他者の言葉を参考にさせ，自分の言葉と組み合わせながら発表してもよいことを伝える。 生徒の感想の中から，自分の生き方とのかかわりで感想を書けているものを確認し，幅広く味わうことについて共有化する。
5	4 学級全体で，グループでの話し合いについて，感想を共有する。 ※自分の生き方とのかかわりで考えをまとめ，話し合うことができていた生徒の発表を聞く。（2人程度）	<p>【評価】（鑑賞の能力） 多様な視点から作品に対する考えを深め，美術作品のよさや美しさを幅広く味わっている。（観察・ワークシート） ＜十分に満足できる状況例＞ 自分の価値意識をもって批評し合う中で，作品の背景を見つめたり，自分の生き方とのかかわりでとらえたりするなど，多様な視点から作品に対する考えを深め，そのよさや美しさを幅広く味わっている。</p>
5	5 今回の題材に取り組むことを通して，感じたことや考えたことをワークシート1に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 初めに作品を鑑賞したことについて触れ，作品に対する見方や考え方がどう変わったのか確認する。

鑑賞【絵画の世界にアプローチ！】

WS 1

3年 組 名前

<学習の流れ>

- 1 ムンクの「叫び」のよさや美しさを感じ取ろう。 → 2 作品に迫るための鑑賞の手立てを考えよう。 → 3 作品に迫るための鑑賞の手立てを实践しよう。 → 4 ムンクの「叫び」のよさや美しさを幅広く味わおう。

月日	学 習 活 動	自己評価
/ ()	1 ムンクの「叫び」を鑑賞して（感想） 	
/ ()	2 作品に迫るために 視点や疑問： 手立て： 準備物：	
/ ()	3 手立てを实践する中で、思ったことや感じたこと 	
/ ()	4 今回の学習を振り返って 	

（自己評価）◎・・・よくできた ○・・・できた △・・・もう少し

4 ムンクの「叫び」のよさや美しさを幅広く味わおう。

前回の授業で、作品に迫るための鑑賞の手立てを実践しました。その活動を振り返り、ムンクの「叫び」について、どの部分から、どんなことを考えたのかまとめてみましょう。



【私の疑問】 _____

○ムンクの「叫び」を深く鑑賞して思うこと・・・（自分なりの考え）

.....

.....

.....

.....

.....

.....